

常任委員会での審査(委員長報告の抜粋)

総務委員会

本委員会が付託を受けた10議案については、2議案を賛成多数で、8議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

審査の過程において、各委員から述べられた質疑、意見、要望の主なものは次のとおりです。

議案関連では、尾道松江線建設促進期成同盟会への負担金の増額内容、消防ポンプ自動車の入札辞退業者が多かった理由、特殊とはいえない勤務に特殊勤務手当を支払うことへの見解、再任用職員を管理職に任用しない時期、市職員の平均給与削減率及び削減額、県内他市より尾道市の削減率が高い理由などについて質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

議案以外では、県営上屋2号のにぎわいづくりの数値目標及び事業期間、昨年の職員の懲戒処分を受けての研修の実施方法、地域防災計画修正に伴う変更点、自主防災組織促進事業の申請件数、尾道大学E棟建設工事の発注について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

民生委員会

本委員会が付託を受けたのは12議案及び、請願1件で、「認知症対応型共同生活介護の施設」など因島圏域に整備する請願であります。

5議案は賛成多数で可決すべきものとし、残る7議案は全会一致で原案のとおり可決すべきと決定し、請願は採択することに決定しました。

審査過程で各委員から述べられた質疑、意見、要望の主なものは次のとおりです。

議案関連では、保育所費の一般職給の減額補正と臨時職員賃金の増額補正内容について、保育士の正規職員と臨時職員の前年度と今年度の人数割合や保育所クラス担任の臨時職員割合について、子ども・子育て会議の設置目的と効果及び委員の公募や内訳について、子ども・子育て支援事業における市が重要と認識する課題などについて質疑、意見、要望がなされ、理事者より、それぞれ答弁がありました。

議案以外では、前尾道市病院事業管理者の罷免について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

文教委員会

本委員会が付託を受けた3議案については、1議案を賛成多数で、2議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

審査の過程において、各委員から述べられた質疑、意見、要望の主なものは次のとおりです。

補正予算では、外国語指導助手の業務内容、英語に限定していること、小・中学校の耐震化率、今後の耐震工事のスケジュール、向東小学校の耐震補強工事の内容の変更理由、コンクリート強度調査委託料について質疑、意見、要望があり、理事者より、それぞれ答弁がありました。

議案以外では、中学校の学校給食、就学指導委員会、インクルーシブ教育システム^{*}、学校図書館支援センター、図書館教育における司書の配置、学校週5日制、学校選択制、(仮称)因島南小学校の施設整備計画、教科書を選定するための教育委員会会議録の情報公開、いじめ防止対策推進法について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

産業建設委員会

本委員会が付託を受けた19議案については全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決しました。審査の経過において、各委員から述べられた質疑、意見、要望の主なものは次のとおりです。

議案関連では、緊急雇用対策基金事業の委託料の事業内容、並びに賃金の計上内容について、サンセットビーチ管理運営業務の債務負担行為を今回計上した理由について、鳥獣被害対策モデル集落支援事業の事業内容について、森金江奥線の道路改良工事の内容について、港湾事業費の減額内容について、千光寺山ロープウェイ原動設備の更新理由について、百島の市有地の太陽光発電の道路占有料について、その他議案外の委員会所管事務に関するものとして、消費生活センター、県営上屋3号、てっぱんのロケセット跡地(まちあるきインフォメーション)の借り上げ料、尾道駅前都市開発株式会社の人事に関する決議、工事入札の業者選定方法について、質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

※インクルーシブ教育システムとは…人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み